

在学留学報告書 (半年留学)

●基本情報

留学開始年度	2023	留学種別	交換
留学先国	韓国	留学先大学名	キョンヒ大学
本学での所属学部(研究科)・学科・専攻			
外国語学部	アジア言語学科	韓国語専攻	
出発時の年次	学部3年次		
留学期間(実際の渡航期間)	2023	年	2月～2023年6月

●認定留学の方への質問

どのように留学先を選びましたか？
私は半年留学を希望しており、半年留学の枠があったのがキョンヒ大学だったため選びました。また、キョンヒ大学にはバディ制度があり、留学生生活を安心して送れる点も選んだ理由の一つです。
留学先決定後、渡航までの手続きの為に留学斡旋業者を利用しましたか？
<input type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用した (会社名: 仲介手数料 円)
<input checked="" type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用しなかった (以下の質問には回答不要)
どのように業者を選定しましたか？

●渡航までの準備

1. 入学申請

授業料は支払いましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)	
授業料総額:	円
授業料総額のうち渡航前に支払った金額合計:	円
支払い方法:	

2. ビザ申請

ビザ申請先	
<input checked="" type="checkbox"/> 在日大使館/領事館等 <input type="checkbox"/> その他 ()	
<input type="checkbox"/> 現地に到着してから申請 (申請の場所:)	
必要書類	
パスポート、パスポートのコピー、身分証明書、証明写真(白背景)、現地大学の入学許可証、申請書(大使館にもある)	
取得にかかった期間(申請してから要した期間)	取得費用
1週間程度	なし
具体的な申し込み手順(例: 必要書類の準備→オンライン申請→面接予約→申請に行く→ビザ発行後受け取りに行く。)	
書類準備→大使館に申請に行く→ビザ発行後大使館で受け取る	
ビザ申請の際の面接	
<input type="checkbox"/> 面接有(質問の内容 / 言語等:)	
<input checked="" type="checkbox"/> 面接無	
ビザ申請の際の注意点やアドバイス	
大使館事に必要書類が違う場合があるので注意。パスポートはコピー必須。過去の渡航歴を問われる部分があったので、昔のパスポートがあるといい。	

現地でビザの延長申請を行いましたか？	
<input type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 行かなかった (以下1~5には回答不要)	
1.申請先	
2.申請時期	
3.必要書類	
4.具体的な手続き	
5.注意点等	

3. 住居の確保

どのように住居を見つけましたか？	
大学付属の寮	
住居の申し込み手順	
留学生がたくさんいる寮なので、寮の案内が来てから申し込んだ	
渡航前に支払った費用とその内訳	
費用：15万 円	内訳：四か月分の寮費、書類準備等
住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 寮 (寮の名前：セファウン)	
<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()
設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等)	
W i - F i、ルームメイトと共用の冷蔵庫、机イス、ベッド、棚、クローゼット、トイレ、洗面台、浄水器(廊下、一階) 一階には共用のパソコン、コピー機、テレビ、電子レンジ、オープン 各階に学習スペースあり	
食事	<input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食事の提供があった (<input type="checkbox"/> 朝 <input type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜) <input checked="" type="checkbox"/> 外食
大学までの通学手段/通学時間	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> トラム <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 ()	
通学時間合計： 10 分	
住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等	
寮のメリットは費用は安いことや、留学生がたくさんいることです。共有スペースの1階ロビーに行けば友達もたくさん作れたり、韓国語を使う機会が増えます。学校にも10分程と非常に近い距離です。しかし寮は門限があったり、キッチンがないので料理を作ることはできません。また二人部屋のためルームメイトによっても生活のしやすさが変わるでしょう。このような部分で向いてないと感じる人は一人暮らしなどをおすすめします。また、寮費の支払いは事前にワイズというアプリを通して行われました。私はワイズでの本人確認が遅れ、なかなか送金できないというトラブルがありました。	

●滞在先の変更について

留学中に引っ越しや滞在先の変更は行いましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下1~10には回答不要)	
1.どのように住居を見つけましたか？	
2.住居の申し込み手順	
3.費用の合計とその内訳	
費用：	内訳：
4.住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 寮 (寮の名前：)	
<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	

●留学総費用概算

	金額		備考
授業料	500,000	円	京都産業大学に納付しているもの
宿舍費	150,000	円	
食費	300,000	円	
教材費等	10,000	円	
保険費 (日本)	40,000	円	
保険費 (現地)	0	円	
医療費	0	円	
渡航費	36,000	円	
ビザ申請関連費	1,000	円	
予防接種費	0	円	
雑費	50,000	円	生活用品購入代
その他	10,000	円	pcr検査代
その他	-13,000	円	大学からの支援金
その他		円	
合計	1084000	円	

●現地での決済方法について

現地での主な決済方法を教えてください。	
<input type="checkbox"/> 現金	<input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード/デビットカード
<input type="checkbox"/> その他 ()	
現地での現金調達はどのように行いましたか？(例：国際キャッシュカードを作成し、現地のATMで引き出した。)	
ワイズを通して両親から送金してもらった。家族が旅行に来た際に日本円で貰い、自分で換金した。	

●健康状態について

現地で病院にかかったことはありますか？	
<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)
治療の内容、治療費、海外旅行傷害保険の利用について、病院利用についてのアドバイス 等	

●現地の治安について

盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことがありますか？	
<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)
詳細：	
対応について：	

●現地では調達できない、日本から持っていきべきものがあれば教えてください。

女性は生理用品、日本のレトルト食品・カップラーメン・うどん・お菓子等あれば便利

●留学先での履修科目について

留学先で取得した単位数合計		credit
		ECTS
本学で認定された単位数合計		単位

●履修登録の方法

履修登録の時期		
<input type="checkbox"/> 出発前		
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録	<input type="checkbox"/> 入学申請書に記入して登録	<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 到着後		
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録	<input type="checkbox"/> 国際センター等の仲介	<input type="checkbox"/> その他 ()
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加・削除できましたか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 変更できた	<input type="checkbox"/> 追加できた	<input type="checkbox"/> 削除できた <input type="checkbox"/> 変更できない
履修登録の際の注意点等があればお書きください。		
自分が履修できる対象でない科目まで履修できてしまうので注意。特にキャンパスが2つあり、外国語系の授業はソウル市外の国際キャンパスなので、履修の時にキャンパスもよく見ること。また、履修変更の期間は第1回目の授業の週であとから履修中止したくてもできないので、よく考えて履修するべき。履修登録は先着順だが、変更期間には最初の登録時には履修できなかった科目に空きがあったりもする。		

※以下は留学先で履修した科目ごとに記載してください。

1	コース名/科目名	韓国語と韓国文化 한국어와 한국문화
	開講学部	国語国文学科
	担当教員名	조현용
	時間数 (1週間あたり)	2時間30分
	授業内容	韓国語には韓国人の志向と文化が反映されている。韓国語に現れる韓国文化の特徴と分類を通して韓国人を理解し世界の中の韓国語を研究する方法を探る。韓国語に現れた韓国人の志向を理解する。これらのために韓国人の言語観、文字観、身体言語、比喩、象徴、慣用表現、ことわざなどをはじめとした言語文化と自然観、人間観、衣食住文化、家族間、哲学、宗教等の姿を詳しく調べる。時代、人権、在外同胞、翻訳等の問題も言語文化の観点で研究する。 한국어에는 한국인의 사고와 문화가 반영되어 있다. 한국어에 나타나는 한국문화의 특징과 분류를 통해서 한국인을 이해하고 세계 속의 한국어를 연구하는 방법을 찾는다. 한국어에 나타난 한국인의 사고를 이해한다. 이를 위하여 한국인의 언어관, 문자관, 신체언어, 비유, 상징, 관용 표현, 속담 등을 비롯한 언어 문화와 자연관, 인간관, 의식주 문화, 가족관, 철학, 종교 등의 모습을 살핀다. 시대, 인권, 재외 동포, 번역 등의 문제도 언어문화의 관점에서 연구한다.
	試験・課題等	チーム課題が一つあり、教科書の指定の部分を自分たちでまとめ、さらに調べたことなども付け加えて韓国語で発表した。試験は中間期末とも叙述形式で授業で学習したことを書いた。日本や他の国と韓国を比較しながら答えるとより評価が良かった。
	感想・自己評価等	韓国語と文化がどう関連しているのか、韓国語がどのように文化を形成しているのか知ることができた授業でとても楽しかった。日本などそのほかの国と韓国を比較しながら進められたので、多様な文化をより理解することができた。

2	コース名/科目名	韓国史入門 한국사입문
	開講学部	史学科
	担当教員名	박윤재
	時間数 (1週間あたり)	2時間30分
	授業内容	韓国史の重要資料を講読して、解放以降発展した韓国史の方法論と視覚を学習する。重要時期に活動した人物の比較を通して分析的志向と批判的能力を涵養する。한국사의 주요 사료를 강독하고, 해방 이후 발전한 한국사의 방법론과 시각을 학습한다. 주요 시기에 활동한 인물들의 비교를 통해 분석적 사고와 비판적 능력을 함양한다.
	試験・課題等	課題は中間が終わった後から、毎週2人の人物を比較したレポートを1枚提出した。(全6回) また、自分の祖父母が大切にしているものとその時代背景をまとめたレポートを提出した。これは祖父母にインタビューをしてまとめた。試験は叙述形式で、中間は主に漢文などの資料から読み取り考えを書くもので、期末は人物レポートなどから出題された。
	感想・自己評価等	

韓国史は思っていたよりも内容が難しく、教授の韓国語を聞き取るのに必死だった。韓国人の生徒のプレゼンはすごくわかりやすかったし、しっかりと深い所まで調べてまとめてあるのがすごいと感じた。韓国の生徒は歴史を知っているのに、私は日本の歴史をあまり知らないと感じたのでこれを機に日本の近代史についても語れるようになりたい。

3	コース名/科目名	文化社会学 문화사회학
	開講学部	社会学部
	担当教員名	김종영
	時間数 (1週間あたり)	2時間30分
	授業内容	文化は公的象徴体系として社会を構想する重要部分だ。この授業を通して学生は文化に対する社会学的理論を学習し、多様な方法論と 이슈を勉強し討論する。文化は意味と協力のメカニズムだけでなく、闘争とイデオロギーの場でもある。この授業を通して学生は協力、闘争、想像としての文化の欲動性を把握する。 문화는 공적 상징체계로서 사회를 구성하는 주요 부분이다. 이 수업을 통해 학생들은 문화에 대한 사회학적 이론들을 학습하고 다양한 방법론과 이슈를 공부하고 토론한다. 문화는 의미와 협력의 메카니즘 뿐만 아니라 투쟁과 이데올로기의 장이기도 하다. 이 수업을 통해 학생들은 협력, 투쟁, 창조로서의 문화의 역동성을 파악해야 한다.
	試験・課題等	課題はチーム課題があり、論文を読み自分たちなりに解釈しまとめ発表する。ただまとめるのではなく、どのチームも問題提起をして討論していた。試験は叙述形式で、授業のパワーポイントで学習した人物やその人物の考えを用いて自分なりに答えるものだった。
感想・自己評価等	この授業はとても難しかった。私が基礎知識がない状態だったので、韓国語を聞き取れても哲学の部分を理解するのが大変だった。	

4	コース名/科目名	가족사회학
	開講学部	社会学科
	担当教員名	안소영
	時間数 (1週間あたり)	2時間30分
	授業内容	社会の変化は社会関係だけでなく、家族の構造と機能、家族関係等にも影響を及ぼす。産業化、都市化等の社会的変化を通して、家族の構造及び形態等も変化してきた。家族に対する研究は多様なアプローチ方法を通してなされており、家族と社会に対する考察は社会の流れに対する家族の変化を多様な観点から理解することができる部分だ。したがって本講義では、現代社会の家族を中心に家族研究の歴史的流れ、家族を見つめる理論的アプローチ、家族と国家、親密性の変化とセクシュアリティ、結婚と家族等の家族と社会に対する等の主題を見ることで、社会に対する幅広い視覚と批判的志向を涵養する。 사회의 변화는 사회관계뿐만 아니라 가족의 구조와 기능, 가족관계 등에도 영향을 미친다. 산업화, 도시화 등의 사회적 변화를 통해 가족의 구조 및 형태 등도 변화해 왔다. 가족에 대한 연구는 다양한 접근방법을 통해서 이루어지고 있으며, 가족과 사회에 대한 고찰은 사회의 흐름에 대한 가족의 변화를 다양한 관점에서 이해할 수 있는 부분이다. 따라서 본 강의에서는 현대사회의 가족을 중심으로 가족연구의 역사적 흐름, 가족을 바라보는 이론적 접근, 가족과 국가, 친밀성의 변화와 섹슈얼리티, 결혼과 가족 등의 가족과 사회에 대한 등의 주제들을 살펴봄으로써 사회에 대한 폭넓은 시각과 비판적 사고를 함양하고자 한다.
	試験・課題等	中間、期末レポートが1枚ずつあった。その間に7枚以内のレポートが一つあり、全部で3つのレポートを提出した。試験は叙述形式で、理論や考えなどを説明する問題と、自分の考えを述べる問題があった。
感想・自己評価等	この授業は一番興味があった授業だった。教授の韓国語も聞き取りやすかったが、専門用語や背景の知識不足で理解が大変な部分も多かった。家族の形と社会がどのように関連しているのか、どんな影響を互いに及ぼしているのかを学ぶことができた。家族と言っても幅広く、特に身体に対する考え、親子関係や家庭内暴力のパートが興味深かった。	

コース名/科目名	젠더와 정치
開講学部	政治外交学科
担当教員名	김은주
時間数 (1週間あたり)	2時間45分
授業内容	
<p>5</p> <p>イベンリーフォックスケラーは『科学とジェンダー』という本で“女性が生まれるのではなく作られるなら、男性も当然そうだ。”と言った。これは科学だけではない。科学的体系を志向する政治理論や政治思想もまた例外ではない。政治哲学者ウェンディーブラウンは政治理論及び思想を含む人間関係のすべてのものがジェンダー化を通して構想されると指摘した。古代プラトンとアリスとテレスからフランス革命以降近代政治理論でも、女性の不在を当然視しただけでなく、徳性や資質の側面で不適合な存在として、女性の排除を正当化してきた。すべての人間は生まれてきてから自由で平等だというフランス革命精神は公布されるな否や、女性の政治参加を主張したオーランドゴードを処刑することで自己矛盾をあらわにした。近代以降の政治理論と哲学は普遍主義という名前のもとで、普遍的な人間性の担持社として男性と男性らしさというジェンダー化を通して構成されると言っても過言ではない。フェミニズムはこのような男性の位階的ジェンダー化に対する抵抗の理論であり実践だった。『ジェンダーと政治』講義は政治領域で性差と不平等がどのように現れているのか、なぜ政治は男性のものとして考えられてきたのか、政治は女性の生き方にどのような影響を及ぼしてきたのか等に対する多様な 이슈を探索する。 이블린 폭스 켈러 Evelyn Fox Keller은 『과학과 젠더』라는 책에서 “여성이 태어나는 게 아니라 만들어진다 면 남성도 당연히 그러하다. 과학도 그러하다.”고 말했다. 이는 과학만이 아니다. 과학적 체계를 지향하는 정치이론이나 정치사상 또한 예외가 아니다. 정치철학자 웬디 브라운 Wendy Brown은 정치이론 및 사상을 포함한 인간 세계의 모든 것들이 젠더화를 통해서 구성된다고 지적하였다. 고대 플라톤과 아리스토텔레스에서 부터 프랑스혁명 이후 근대 정치이론에서도 여성의 부재를 당연시했을 뿐만 아니라 덕성이나 자질의 측면에서 부적합한 존재로서 여성의 배제를 정당화해왔다. 모든 인간은 태어나면서부터 자유롭고 평등하다는 프랑스 혁명정신은 공포되자 마자, 여성의 정치참여를 주장했던 올랭드 구드를 처형함으로써 자기모순을 드러냈다. 근대이후의 정치이론과 철학은 보편주의라는 이름하에서 보편적 인간성의 담지자로서 남성과 남성됨이라는 젠더화를 통해 구성되었다 해도 과언이 아니다. 페미니즘은 이러한 남성위계적 젠더화에 대한 저항의 이론이자 실천이었다. 『젠더와 정치』 강의는 정치영역에서 성차와 불평등이 어떻게 나타나는지, 왜 정치는 남성의 것으로 생각되어져왔는지, 정치는 여성의 삶에 어떠한 영향을 미치는지 등에 대한 다양한 이슈들을 탐구해보고자 한다.</p>	
試験・課題等	
<p>全授業の中で約4回ほど事前に授業のスライドを見て質問を考えて発表する課題があった。また、その質問をベースに中間と期末の2回レポートを提出した。試験は叙述形式で、2つの中から一つ選び、それについて説明と考えを述べる問題だった。</p>	
感想・自己評価等	
<p>1回の授業が2時間45分だったので韓国語を聞き続けるのが大変だった。政治について知らないことがたくさんあったが、女性が排除されてきた背景などを学ぶことができ、本学での卒業論文のテーマの参考にもなった。</p>	

留学体験談の執筆依頼について

以下の留学体験談は、記入必須ではありませんが、留学を目指す学生にとって大変貴重な資料となります。できる限り、記載いただきますようお願いいたします。

留学のきっかけ
海外旅行好きの祖父母に幼少期から海外旅行に連れて行ってもらったことで、海外に興味を持つようになった。そして海外で生活したり外国語を話せるようになりたいという思いから留学に行きたいと思うようになった。
留学先国、大学を選択した理由
韓国が好きで韓国語専攻だったから。半年留学を希望していたことや、キョンヒ大学はバディ制度もあり充実していたので志望した。
留学先大学での授業・学習内容・試験・課題・について
授業は月・水/火・木の2コマで週2回ずつの授業と1日に2コマ分で週1回の授業がある。韓国語と文化のつながりの授業や社会学の授業を履修した。専門用語や基礎知識がないと聞き取るのが難しい部分がある。試験は基本論述形式だった。課題は中間・期末のレポートがある授業やチーム発表の課題がある授業もある。
滞在先について
学校の付属の寮に住んでいた。二人部屋。門限あり。一階の共用スペースに電子レンジ、オープンなどがある。各階に浄水器と自習室がついている。
留学先国や大学の雰囲気について
キョンヒ大学は留学生が多く、にぎわっていて活気があふれる雰囲気がある。常にどこかの学部や学生部がイベントを開催していて、生徒のための大学だと感じる。
友人関係について
思っていたよりも韓国人の友人を作るのは難しかった。韓国人の友人が欲しかったら、授業などで積極的に話かけたほうがいい。私はバディの学生と会う機会が多く自然と仲良くなっていった。寮に住んでいたので一階の共有スペースに行ったことで多国籍の友人がたくさんできた。
苦労したことや大変だったこと
韓国語を話す機会があまりなかったこと。授業では思っていたよりも発言の機会は少なかった。寮でできた友人との共通言語が韓国語だったので、積極的に共有スペースに行き韓国語を話す機会を作った。
授業以外の活動（課外活動・ボランティア・サークル等）について
サークルには加入しなかった。バディとの活動で韓国でしかできないことをたくさん体験した。例えば、コチュジャンづくり、学期体験、餃子・豆腐作り、伝統お菓子作りや韓国料理を食べた。
留学経験から得たこと
まず、話す機会は自分で作るのが大事ということだ。授業でも思っていたより話す機会はなかった。私は寮の共同スペースを利用し他国の留学生と韓国語で会話する時間を自ら作った。使い方がうまい人をマネするのも大事だと思った。留学に行ったから話せるようになるのではなく、受け身ではなく積極的に自分から行動することで学びが広がることを実感した。

これから留学する方へのメッセージとアドバイス

留学したら、現地で戸惑うことはたくさんあると思います。やろうか迷っていたらもったいないので、とりあえずなんにでも挑戦してみる！という精神を忘れないでほしいです。私は半年留学だったのですが、本当にあっという間でした。帰国するときにもっとあしとけばよかったという後悔がないように、とにかくいろんな未知のことに挑戦して沢山たのしんで学んできてもらいたいです。

今後の進路や目標等

将来はいずれは翻訳の仕事をしたいと考えている。そのために20代は資金を貯めたり、コツコツと翻訳の勉強をしながら過ごしていきたい。この留学で学んだことは、留学生活だけでなく日常生活や自分が何かに挑戦するときにも生きてくると思う。学んだことを忘れずに、これからも様々なことに挑戦していきたい。

・留学の様子がわかる写真(2~3枚)があれば、以下に添付してください！

